

事業所における自己評価結果
(児童発達支援 公表用)

公表：令和 7年 3月 27日

事業所名 児童発達支援 いらば 山手教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		弊所では、集団PGと個別PGの両方を取り入れております。個別PGの際はお子様に集中していただけるよう、パーテーション等で区切り、場所の構造化をはかっております。また、基準を上回った療育スペースを確保しております。	
	② 職員の配置数は適切である		4	現在スタッフが足りない中 本社スタッフに応援要請し、業務を適切に分担しております。	職員配置数に関しましては、スタッフ補充に向けて募集をかけており、実際に面談等も行っております。 送迎業務を行える方がそもそも少ないのが現状となりますが、これからご利用者様がが増えていく事も考慮し、引き続きスタッフを増やして参ります。
	③ 事業所の設備等のついて、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	トイレの扉を引き戸にするなど、全室段差がないよう工夫しております。	バリアフリーに関して弊所は避難経路の観点から基本的には身体障碍の方を受け入れる事が難しい施設となっている為、補助便座の活用や手すりの設置を検討し改善に努めてまいります。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		毎朝毎夕ミーティングでお客様の特性発達段階課題ニーズを確認し、個別支援の計画・実行・確認分析・査定改善を続けています。 モニタリング個別支援計画などに合わせた支援をし、継続が必要か判断し改善を行っています。 一人一人に個別バインダーを作成し本人の課題やニーズに合わせたきめ細かな支援を行っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		親御さんにアンケート調査を実施し、集計→分析→改善点を洗い出し今後の具体的な業務改善内容を事業所内で検討いたしました。集計結果はHPでも公表をさせていただきます。	
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		親御さんにアンケート調査を実施し、集計→分析→改善点を洗い出し今後の具体的な業務改善内容を事業所内で検討いたしました。集計結果はHPでも公表をさせていただきます。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		現在、第三者評価は受けていませんが必要に応じて検討いたします。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		毎月複数、年間では数十の研修を開催実施し資質向上を目指しております。 強度行動障害、児童発達支援管理責任者等の研修は希望者が受けることができます。 毎月研修を複数計画し行っています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		親御さんやご本人の思い・課題・ニーズを抽出し各自の特性や発達段階を鑑みて、将来の自立への支援に役立つ個別支援計画を作成しております。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		標準化したアセスメントシートを活用しています。	

適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	スタッフ同士活動プログラムを話し合っ て立案しています。 立案はトップダウン形式だが、必要な情 報は全員に伝わっていると認識していま す。	全員が集まってミーティングを行う時間 の確保が難しいので業務量の調整やミー ティングを行う時間の再検討を行い改善 に努めます。
	⑫	活動プログラムが固定化しない よう工夫している	4	繰り返し学習の重要性もございますが、 SSTトレーニングアサーショントレー ニングでは毎回学習内容を変えておりま す。 図書館に本を借りに行ったり、手作りお もちゃ・プログラム教材を制作してい ます。 また、季節の歌や季節の紙芝居、新しい プログラム教材を作成し療育に活用して います。	
	⑬	平日・休日・長期休暇に応じ て課題をきめ細やかに設定し て支援しているか	4	休日・長期休暇中も通常通りの療育の訓 練を行っています。	平日・休日・長期休暇中の支援内容は通 常時と内容も大きく違いはないので今後 は平日・休日・長期休暇は、デイリープ ログラムや季節のプログラムをご用意 し、時節に合わせた行事、日本の文化へ の理解を深めるプログラムを設定を検討 いたします。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別 活動と集団活動を適宜組み合 わせて児童発達支援計画を作 成している	4	契約更新時に聞き取りをおこない、利用 者・保護者のニーズを確認しています。 成長段階や個々の状況を把握し、職員間 で話し合いニーズの分析をおこなった上 で立案しています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず 打合せをし、 その日行われる支援の内容や 役割分担について確認してい る	4	朝夕のミーティングを通して、当日に変 更があった場合はその都度打ち合わせを して確認しています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必 ず打合せをし、その日行われ た支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有している	4	朝夕ミーティングで行っています。 夕方ミーティング時に、振り返りを行い ノートに記入して共有を行っています。	
	⑰	日々の支援に関して記録をと ることを徹底し、支援の検 証・改善につなげている	4	集団プログラム内容や個別プログラム内 容を記録し毎回親御様に公開しており、 次回の個別プログラムに生かせるようス タッフ間の情報共有を大切にしていま す。	
	⑱	定期的にモニタリングを行 い、児童発達支援 計画の見直しの必要性を判断 している	4	6か月以内にはモニタリングを行い、アセ スメントし、達成度の評価及び新たな課 題抽出を行い、個別支援計画の更新を 行っております。	
	⑲	ガイドライン総則の基本活動 を複数組み合わせて支援を 行っているか	4	ガイドライン通り5療育を満たした支援 内容となっております。 自立支援と日常生活の充実のための活 動、連合遊びトレーニングの提供に力を 入れています。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサー ビス担当者会議にその子ども の状況に精通した最もふさわ しい者が参画している	4	カンファレンスは行えていませんが都度 情報をスタッフ内で共有しています。	関係機関に呼びかけて、担当者を招待し てのサービス担当者会議・カンファレン スを開催できていないので今後は対応策 を検討します。
㉑	母子保健や子ども・子育て支 援等の関係者や関係機関と連 携した支援を行っている	4	各関係機関と連携を取っています。		
㉒	(医療的ケアが必要な子ども や重症心身障害のある子ども 等を支援している場合) 地域 の保健、医療、障害福祉、保 育、教育等 の関係機関と連携した支援を 行っている		該当なし		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当児なし	
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		関係機関と連携を取ってモニタリングや個別支援計画を情報共有し相互理解を図っています。モニタリング個別支援計画だけでなく、送迎時にその日のご様子状態を共有している。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		関係機関と連携を取って情報共有し相互理解を図っています。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		関係機関と連携を取って情報共有し相互理解を図り、中部療育センターの勉強会に参加しました。中部療育センターにて、研修を受けています。TEACCHプログラムを導入しています。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4			現在そのような活動は行なっておりませんが、今後必要と感じた際は検討いたします。
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4			人員に余裕が出たら参加の予定です。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		些細な気づきでも、日々保護者に伝えています。送迎時やHUGなどで、お子様の様子状況を共有しあっています。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		個別でご相談があった場合にはペアレントトレーニングとして具体的な支援方法等のアドバイスをさせていただきます。HUGだけでなく、児発管が電話で保護者とコミュニケーションを取る機会が多いので電話での助言も行っております。	
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に行っております。	
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		ガイドラインにもとづいて5療育を満たした個別支援計画を作成し、HUG上からご確認いただきご了承を頂いております。児発管が契約時に説明しております。	
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		保護者からの悩みなどに対し適時相談に応じ電話面談など行っております。	
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			今後予定しております。
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			

	③⑥ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		会報等は発行していませんが、避難訓練や日々の活動概要、また緊急時連絡体制等をお手紙以外のHUGやホームページでお知らせしております。
	③⑦ 個人情報の取扱いに十分注意している	4		支援中は個人の携帯は持ち込み禁止とさせていただきます。個人情報流出のリスクを最大限に抑えています。職員間で徹底しています。HUGに載せる写真に他児の個人情報を保護したものを共有しています。
	③⑧ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		合理的配慮の為、必要はお子様にはカードやタブレットでコミュニケーションを図っています。
	③⑨ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		非日常と混雑した状態に対するストレス耐性が低めのお子様が多いため事故が無いように慎重に検討いたします。
非常時等の対応	④⑩ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員には定期的に研修及び訓練を行っております。親御様には必要であれば周知しております。
	④⑪ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		年に二回避難訓練実施しています。その様子をHUGホームページで保護者の方に共有し、備蓄品の確認なども定期的に行っています。
	④⑫ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		
	④⑬ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		食物アレルギーには対応しておらず、独自のおやつを持参していただいております。児発ではおやつなどの時間は設けていません。水分は水筒を持参してもらっています。
	④⑭ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		作成保管しております。
	④⑮ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		年二回の研修と年三回の定例会実施しております。定期的に研修を行っています。
	④⑯ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		契約時に説明し同意書を作成しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。